

NEWS RELEASE

キャノンマーケティングジャパン株式会社
キャノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社

新開発「FLXfinish(フレックスフィニッシュ)」テクノロジーを搭載し 幅広いアプリケーション対応力と高生産性を実現 64インチ対応UV硬化型大判プリンター“Colorado 1650”を発売

キャノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キャノン MJ)とキャノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社(代表取締役社長：井崎孝)は、主にサイン&ディスプレイ市場を対象に、64インチ対応 UV 硬化型大判プリンター“Colorado(コロラド) 1650”を2020年1月より発売します。



Colorado 1650

キャノングループは2020年よりオセのすべての製品をキャノンブランドに統合し、商業印刷事業すべての分野でブランドを統一しました。キャノングループ内における連携をさらに高め、商業印刷事業の成長に取り組んでいます。

このほど、主にサイン & ディスプレイ市場を対象とした、64インチ(約1.6m 幅) ロール to ロールプリンターの新製品として一台でグロス/マット仕上げを可能にする「FLXfinish」を搭載した“Colorado 1650”を発売することにより、プロダクションプリンティング事業の強化・拡大を進めます。

大判印刷においては早くからインクジェットの導入が進んでいますが、インクジェットテクノロジーにおいては生産性がデジタルシフトのボトルネックになっています。

“Colorado 1650”は、新開発の「FLXfinish」テクノロジーにより、インクの硬化タイミングを制御することで、グロス調とマット調の2つのモードのプリントを一台で可能にしました。また、「UVgel(ユーブイジェル)」テクノロジーはグロス調の最高速モードで毎時159m²、高品質モードで毎時40m²、マット調では最高速モードで毎時46m²、クオリティーモードで毎時27m²を実現しています。低温でのLED硬化により熱に弱いとされるフィルムや糊付き塩化ビニル、壁紙などへの出力に加え、従来のインクより柔軟性を185%向上させたことにより、さらに多彩なメディアへの対応を実現しました。エコソルベントやラテックスプリンターに比べ最大40%のインク使用量の削減*を実現します。

キャノン MJ グループは、サイン & ディスプレイの屋内外向け広告印刷や、壁紙や床装飾など産業印刷向けに販売していきます。

※ キャノンプロダクションプリンティング(以下、CPP) 調べ。同等クラス他種インクのプリンターと比較した場合。CPP のテスト環境下において。

製品名	価格(税別)	発売日	販売目標
Colorado 1650	980 万円	2020 年 1 月下旬	30 台/年

- 報道関係者のお問い合わせ先：キャノンマーケティングジャパン株式会社
広報部 パブリックリレーションズグループ 03-6719-9093(直通)
- 一般の方のお問い合わせ先：キャノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社
マーケティング部 マーケティング第一課 03-6719-9642
- ニュースリリースホームページ：canon.jp/newsrelease ● Colorado ホームページ：www.canon-pps.co.jp/colorado

<キヤノンプロダクションプリンティングについて>

オセは2020年1月1日より、社名を「キヤノンプロダクションプリンティング」に変更しました。商業印刷市場において、高度な技術を要する印刷機器やソフトウェアを開発・製造しており、製品群には、大量印刷・出版用の連帳プリンターやカット紙プリンター、グラフィックやCAD / GIS向けの業務用大判プリンターなどがあります。“Colorado 1650”はキヤノンブランドとして発売する最初の製品です。

<主な特長>

■ 一台で2つのフィニッシュを実現する「FLXfinish」テクノロジー

- ・フレックスフィニッシュテクノロジーは、インクを交換することなくグロス調、マット調の画像をプリントする新テクノロジー。これにより、塩化ビニルはグロス仕上げ、ターポリンはマット仕上げなどアプリケーションによって使い分けが可能。
- ・グロス調、マット調のプリントはインクの硬化タイミングによって制御され、硬化後のインク形状が光の反射に影響して両方の仕上がりを実現。



■ 新開発 UVgel 460 インク

- ・再開発された新インクにより柔軟性が従来機と比較し185%向上。対応するアプリケーションがさらに拡大。



■ GREENGUARD Gold 認証取得

- ・室内で使用する製品から放出される化学物質の排出の基準と、それを満たしていることを示す認証で、国際的な環境基準の指標となっている。同認証には2種類あり、UVgel 460 インクは室内環境により高い配慮が求められる学校や医療機関などの施設での使用を念頭に置いた Gold 認証を取得している。



■「UVgel」テクノロジーにより高生産性、高画質、幅広いメディア対応を実現

- ・グロスモードの高品質モードで40m²、マットモードの高品質モードで27m²の生産性を持ち、同クラスのプリンターと比較しても圧倒的なスピードを実現。
- ・印刷物は速乾性に優れているため、印刷後すぐに後加工に渡すことができ、ワークフロー全体の作業効率が向上。
- ・低温でUV硬化をするため熱負荷が少なく、熱に弱いとされるフィルムや糊付き塩化ビニル、壁紙など幅広いメディアへの出力に対応。
- ・低臭気のため、UVインクで対応が難しいとされる室内向けの印刷物に対応。
- ・エコソルベントやラテックスプリンターに比べ最大40%のインク使用量の削減※を実現。
- ・インクの温度調整技術により、メディアへの着弾後にジェル状となり、正確なドットゲインコントロール(ドットサイズを拡大すること)を行うことで、正確な着弾位置を保ち、ほかの色と混ざりづらいため、高品位な画像形成を実現。



※ CPP 調べ。同等クラス他種インクのプリンターと比較した場合。CPP のテスト環境下において。

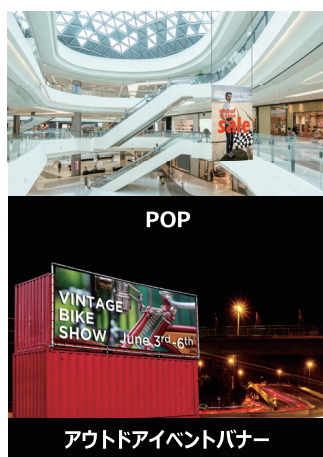
<主な想定印刷成果物>

- ・アウトドアイベントバナー
- ・POP
- ・壁装飾、床装飾
- ・カーラッピング
- ・バックリット(電飾用途)



バックリット

床装飾



POP

アウトドアイベントバナー



カーラッピング

壁装飾

<ロール to ロールプリンターの国内市場動向>

45インチ以上のロール to ロールプリンターの国内市場は今後拡大が予想されます。“Colorado 1650”はこの市場のハイボリューム層をターゲットとし、大量出力の需要に対し高生産性を提案します。

<主な仕様>

製品名	Colorado 1650	
印刷方式	UV ジェル ピエゾ式インクジェット	
プリントヘッド	UVgel 415 Printhead 2ヘッド / 色	
プリント解像度	最大1800dpi	
インク	UVgel 460 ink (CMYK 4色)	
硬化方式	UV LED	
印刷速度(モード)		
グロスプリントモード	最高速(Max speed)	159m ² /時
	高速(High speed)	114m ² /時
	スピード(Speed)	80m ² /時
	プロダクション(Production)	57m ² /時
	高品質(High Quality)	40m ² /時
	スーペリア(Superior)	27m ² /時
	スペシャリティ(Speciality)	20m ² /時
マットプリントモード	高速(High Speed)	46m ² /時
	スピード(Speed)	38m ² /時
	プロダクション(Production)	31m ² /時
	クオリティー(Quality)	27m ² /時
	スペシャリティ(Speciality)	20m ² /時
	バックリット(Backlit)	20m ² /時
	バックリットデンシティー (Backlit Density)	10m ² /時
用紙	ロール幅	最大1,625mm
	ロール重量	最大50kg /本
	ロール径	最大220mm
	メディア厚	最大0.8mm
	ロール給紙	2本(自動／マニュアルモード、 オンライン・スイッチング)
サイズ・質量	本体寸法(幅 × 奥行 × 高さ)	3,022mm×1,093mm×1,310mm
	質量(用紙含まず)	約740kg
	電源(50/60Hz)	2本、単相200V +/-10%、20A
ソフトウェア(RIP)	ONYX Thrive™ 19以上	
インターフェース	イーサネット(100Mbit、1Gbit)	